

福岡県医発第 989 号（総）

平成 19 年 9 月 8 日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 横 倉 義 武

(公印省略)

平成 19 年就業構造基本調査への御協力をお願い

標記調査について、日本医師会より広報用ポスターの掲載協力依頼がありました。

本調査は総務省が 5 年毎に実施する調査で、国民の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的としております。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご丁知頂き、貴会会員の勤務する医療機関に対し、都道府県及び市区町村からポスターの掲出依頼がありました際は、ご高配方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 廣瀬真恵

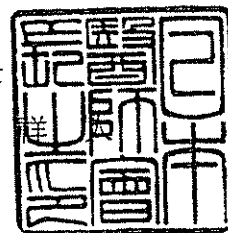


平成 19 年 8 月 29 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

唐 澤



平成 19 年就業構造基本調査の実施に関する協力について（依頼）

総務省では国民の就業・不就業の実態を明らかにするため「就業構造基本調査」（指定統計第 87 号）を実施しております。

この度、平成 19 年調査を実施するにあたり「別紙写」にて広報用ポスターの掲載依頼の協力量要請があり、本会は協力することと致しました。

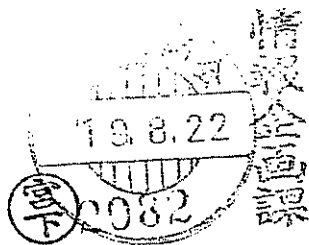
つきましては、貴会におかれましては本調査にご協力量よろしくご高配賜りたくお願い申し上げます。

記

1. 本会宛ての調査協力依頼文書

2. ポスター



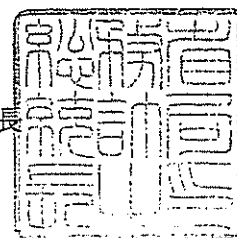


総統労第 159 号

平成 19 年 8 月 10 日

日本医師会
唐澤会長 殿

総務省統計局長



平成 19 年就業構造基本調査の実施に関する協力について（依頼）

総務省統計局が実施している各種統計調査につきましては、平素からご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当局では、本年 10 月 1 日現在で、国民の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的として、就業構造基本調査（指定統計第 87 号を作成するための調査）を実施します。

就業構造基本調査は、昭和 31 年に開始され、今回が 15 回目となる調査です。

調査は、一定の統計上の抽出方法に基づき全国から約 45 万世帯を選定し、その世帯の世帯員約 105 万人を対象に、ふだん何か収入になる仕事をしているかどうかや就業に関する希望などを調査し、全国及び地域別の就業構造を把握することにより、雇用政策、経済政策など、国や地方公共団体におけるさまざまな行政施策の立案等に用いる基礎資料を提供します。

本調査の円滑な実施に当たっては、調査に対する理解と協力を得ることが必要であり、そのため、当局では広報用ポスターを作製し、各方面への広報活動に努めているところです。

つきましては、貴医師会会員である医師が勤務している病院及び診療所に対し、都道府県及び市区町村からポスターの掲出依頼がありました際は、調査の趣旨を御理解いただき、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

問合せ先：総務省統計局労働力人口統計室

就業構造基本調査広報担当

電 話：03 - 5273 - 1190

F A X：03 - 5273 - 1184